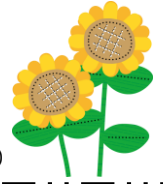


学校だより 第6号



宇都宮大学共同教育学部附属特別支援学校（令和3年8月25日発行）

35日間の長い夏休みが終わり、学校に元気な子どもたちの声が戻ってきました。コロナ禍の中で迎える2度目の夏。旅行やレジャーにも制限がかかり、今年もまた我慢の夏となりましたが、登校してきた子どもたちの表情からは、それぞれに楽しく充実した夏でもあったことがうかがえました。さて、学校生活は第一学期の後半に入ります。これまでの学習を振り返り、身に付けた力を生かしながら生活していくまとめの時期でもあります。まだまだ暑い日が続きますので、食事と睡眠をしっかりとって元気に学校生活を送りましょう。

指導力向上を目指して

宇都宮大学オリジナルキャラクター
「宇～太」



本校では、夏休み期間を活用して職員研修を計画的に実施しています。今年度は外部向けの「教職員サマーセミナー」を2講座（うち1講座はコロナウイルス感染拡大のため中止）と、7つの校内研修を実施しました。

教職員サマーセミナーは、宇都宮大学と栃木県総合教育センターが共催する、県内の現職教員向けの講座です。本校では、「子ども理解と授業力向上を目指して」を共通テーマとして2講座を設定しました。

7/29(木)には、宇都宮大学の岡澤慎一先生を講師として「障害状況にある子どもを理解すること～教育的係わり合いからの検討～」というテーマで講座を行いました。特別支援学校だけでなく、小学校、中学校、高等学校からも参加があり、障害の有無や程度に関わらず「子どもを理解する」ということへの関心の高さとその重要性を感じました。



校内研修の充実は、今年度の本校の重点課題として取り組んでいます。年度当初にアンケート調査で把握したニーズをもとに、様々な研修を企画しました。

8/4(水)には、最も要望の多かったICTに関する研修を行いました。宇都宮大学の齋藤大地先生をお迎えして、実際にiPadを操作しながら、様々なアプリの紹介や授業への活用のヒントをいただきました。GIGAスクール構想は本校でも展開が始まり、校内のWi-Fiや一人一台端末(iPad)も整備されてきました。今後の本格的な活用にあたり、大変有意義な研修となりました。

コロナ禍における研修の新たな形としてオンラインでの研修や動画視聴による研修も行いました。多忙な教育現場の中にあっても、常に学び続ける教師であるために、今後も様々な工夫をしながら取り組んでいきたいと考えています。

お知らせ

詳しくは通知で
ご確認ください

- ・「緊急事態宣言」が栃木県に発出されたことに伴い、行事の延期や縮小があります。各通知で御確認ください。
- ・9月26日(日)の栃木県障害者スポーツ大会は中止となりました。
- ・9月21日(火)は月曜日課です。下校時間が変更になる学年・学級がありますので御留意ください。